

福祉にいがた

Fukushi Niigata

CONTENTS

巻頭特集

引きこもり問題 当事者と家族会に聞きました（2～5面）

- 「フードバンクしばた」の意欲的な取り組み紹介
- 新潟県福祉人材センターがホームページ開設

6月号
2020
第814号



絵 しゅんすけ「さがたを見るさる吉くん」（えかき・新潟市西区）



社会福祉
法人

新潟県社会福祉協議会

<http://www.fukushiniigata.or.jp/>

バックナンバー
こちらから

孤立させない、孤立しない

NPO法人「がぼじこ」が運営する地域活動支援センター「がぼじこ(新潟市西区)の施設長・池田浩太さんは15年間の引きこもり生活を経て、今はその経験を伝えていきたいと考えています。池田さんが歩んだ道と想いを伺いました。また、引きこもりなどの子どもを持つ親や家族の会、NPO法人KHJにいがた秋桜の会理事長の三膳克弥さんに、現状と取り組みについて伺いました。

家庭問題引き金に引きこもり

当事者の想いを伝えたい

25歳から40歳までの15年間、いわゆる引きこもり生活を送った池田浩太さん。特に若年層の引きこもりや、その予備軍の人に、自身の経験を生かした支援ができないか模索中です。「社会とのつながりを切っては駄目」とい

う言葉には、当事者として伝えたい強い思いが詰まっています。

外出はわずか数回

新潟市出身の池田さんが引きこもり生活に入ったのは、家庭内の問題が大きな原因だったと言います。精神的に追い詰められ、中学、高校時代はうつ病気味でした。のしかかる問題を「自分の中で解決できないまま、ごまかし、無理をして生きてきた」。その結果、専門学校で就活が始まった時に通学の電車に乗

れなくなり、アルバイトの日に。友達と遊ぶこともなくなり、みんなと何かずれていると感じ、電話に出ることもなくなり、疎遠になってしまいました。

決定的だったのは、中央区万代のスクランブル交差点での出来事でした。赤信号にもかかわらず、一人だけ歩き出し、交差点中央で車にクラクションを鳴らされたそうです。そこで「俺は駄目だ」と思い込み、外出できなくなりました。25歳のころでした。

それから15年。家の敷地外に出たのは数回だけ。「運転免許証の更新だけは何とか行けた。頑張れば行けた。気持ちの上で、最後のとりでだと思った」。精神的にすり減り、ひたすら眠る日々。テレビの音をBGMのように

に聞いていたそうです。

大河ドラマが契機

35歳のころ、そんな環境から脱出するきっかけがありました。大河ドラマ「龍馬伝」の最終回です。龍馬が死に、残された人々の悲しみと喪失感が自分の状況と重なり合いました。「しまい込んでいたつらさが一気に吹き出し、声を上げて泣いた。自身をコントロールできなくなった」。感情失禁で、完全ではないものの吹っ切れたのです。

重苦しかったトンネルを抜け出す一歩を踏み出しました。覚悟を決めて縁のあったクリニックに通院し始めましたが、行くのがつらくなり、中途半端な治療が約5年間続きました。



池田浩太さん



来訪者と楽しくおしゃべりタイム

共生の 居場所づくりと 役割創出

「NPO法人がばじこ」が運営する施設を紹介します。理事長の新保まり子さんは「その人がその人らしく安心して居ることができる場所をつくりたい。みんなで一緒に笑えたらいいな。それが生きる力につながる」と話します。誰もが共に生きる居場所と利用者が夢や特技を生かし社会貢献することを目指しています。

■ドリームハウス「クルシェア」

- ・住所 新潟市西区四ツ郷屋2124-1
- ・開館 火～金曜日 10時～15時
- ・利用料 500円程度

■ドリームハウス「HOPE」

- ・住所 新潟市中央区東出来島4-16
- フリースクール ドリームスクール「HOPE」
土曜日 10時～15時
- 生きづらさを抱える人の居場所「紬一つむぐー」
日曜日 14時30分～17時30分
月曜日 10時～16時
- 地域の茶の間HOPE
第1・3水曜日と第2・4金曜日
10時～14時

新保まり子さんが、新潟市西区でママの心を元気にする居場所として1999年に開設した「ドリームハウス」の歩みをつづった「あなたのままで～夢が叶う居場所 ドリームハウスの20年～」(新潟日報事業社)。



が 障がい者、外国人 ば おばあちゃん じ おじいちゃん こ 親子

40歳の時、もう一度、今後のことを冷静に考える機会がありました。「ちゃんと治療を受けなくてはいけない」と思い直し、ネットで調べたデイケアのある病院に転院、投薬治療や生活改善に励み、元気になっていきました。当事者らが集まる所に顔を出すようになり、いろいろな人と出会い、話しをするようになりまし

自ら病院で治療受け



幼児から障がいのある人、高齢者など誰もが集える

た。とりわけ、同年代のボランティアと話すことで、自分というものを出せるようになったと言います。最



ドリームハウス・クルシェア外観

初は自然に笑うこともできませんでした。他者とのつながりの大切さを実感しています。「孤

立しないこと。近所の人たちなど周りの力が大事だ。頼ることも必要」と強調します。「自分から社会との関わりを切っては駄目。友達の一人でもつながっていないと。本当は孤立したくないのだから」。

支援する側に回る

「他人との縁でここまで来た。いろいろなことに関わり合いたい。何より、自分の経験を生かしたい」。

今度は支援する側に回り、クルシェアに来る人たちに、自身の生きざまや思い巡らせてきたことなどを伝えていきたいと考えています。



発行の冊子・魂の叫び

2001年に立ち上げられたNPO法人KHJにいがた「秋桜の会」は、県内各地で、引きこもりの本人や家族のための定期的な集いを重ねてきました。同時に代表を務める「ひきこもりサポートネットにいがた」の活動として、講演や講座の出席を行うなど、きめ細やかな支援を続けてきました。理事長の三膳克弥さんは「今は当事者らの居場所を設けることに力を入れている」と支援の充実を図っています。

居場所づくりへ江南区社協と連携

生きづらさを抱える人支援に力

「秋桜の会」は「KHJ全国ひきこもり家族会連合会」の支部として発足しました。連合会では、引きこもりを抱えた家族・本人が社会的に孤立しないよう、全国の家族会と連携し、行政に働きかけながら、誰も

が希望を持てる社会の実現を目指しています。

情報を求め家族会

三膳さんは、息子の引きこもり問題を抱え、発足から関わりました。「情報が欲しかった」と言います。医療問題ではない、と相談先すらもなかった時期でした。連合会創設者が全国を回り、新潟で支部設立の講演をした際には、100人を超える家族らが集まりました。県内にも、不安や悩み

を抱えた当事者や家族がいかに多かったのかを物語っています。

内閣府が昨年発表した調査結果によると、15歳から39歳で引きこもり状態にある人は、全国で54万1千人、同じく40歳から64歳では61万3千人と推計されています。引きこもり状態の人の高齢化は、「8050問題」と絡み、支援策の充実が求められています。厚生労働省は、引きこもり問題を戸別訪問で支援する自治体職員450人程度を全国に配置する方針です。戸別訪問する「アウトリーチ(本人への働きかけ)支援員」は民間の支援団体や家族団体など

と連携して支援に当たる考えです。

昨年は、川崎市の児童ら殺傷事件と元農林水産事務次官が長男を刺殺した事件が続き、犯罪と引きこもり問題が結びつけられ、三膳さんらの思いとはかけ離れたところでクローズアップされました。同時に、周囲への相談もできず、一人で抱え込んでいる現実もありました。

「秋桜の会」の活動は、土・日曜日の午後、支部のある新潟、新発田、長岡、十日町、上越、佐渡の6カ所で「ピアカウンセリング」を中心にセミナーや相談会などを開催しています。一人一人引きこもりの状態が違います。みんなで一緒に解決へ向けて考えます。三膳さんと副理事長を務める妻の美代子さんが、手分けをして運営などに関わっています。会員はおよそ70家族です。

ネットワークの力も大切にしています。当事者の社会的自立と家族支援を続けていくためには、一つの団体や個人では限界があります。問題の解決に向けた大きな輪が必要で、「ひきこもりサポートネットにいがた」が大きな役割を果たし

「秋桜の会」理事長・三膳克弥さん



講演会

県内6カ所で集い

「秋桜の会」の活動は、土・日曜日の午後、支部のある新潟、新発田、長岡、十日町、上越、佐渡の6カ所で「ピアカウンセリング」を中心にセミナーや相談会などを開催しています。一人一人引きこもりの状態が違います。みんなで一緒に解決へ向けて考えます。三膳さんと副理事長を務める妻の美代子さんが、手分けをして運営などに関わっています。会員はおよそ70家族です。

NPO法人 KHJにいがた 「秋桜の会」事業一覧

- ◆ひきこもり問題の解決に役立つ講演会・講座・勉強会
 - ・新潟市総合福祉会館
 - ・隔月第4日曜日 午後1時～4時30分
- ◆ひきこもり当事者やその親・家族のためのセミナー・相談会・サークルの会
 - 新潟地域
 - ・新潟市総合福祉会館
 - ・毎月第4日曜日 午後1時～4時30分
 - 新発田地域
 - ・新発田市ボランティアセンター
 - ・毎月第1日曜日 午後1時30分～4時
 - 長岡地域
 - ・ながおか市民センター
 - ・毎月第2土曜日 午後1時～4時
 - 十日町地域
 - ・十日町千手中央コミュニティセンター
 - ・毎月第3土曜日 午後1時～4時30分
 - 上越地域
 - ・上越総合福祉センター
 - ・毎月第3日曜日 午後1時～4時
 - 佐渡地域
 - ・佐渡中央会館
 - ・毎月第2日曜日 午後1時～4時
- ◆ひきこもりの子どもを持つ親・家族のための居場所
 - ・新潟市市民活動支援センター
毎月第2・4火曜日 午後1時～4時
 - ・江南区福祉センター
毎月第3火曜日 午後1時～4時
- ◆ピアサポート・訪問サポート士派遣

NPO法人 KHJにいがた「秋桜の会」

- ・事務局 新潟市江南区
- ・電話 090-8873-4453
- ・FAX 025-382-6912
- ・E-Mail khj-niigata@amail.plala.or.jp
- ・ホームページ <http://blog.canpan.info/khj-niigata/>

幅広い年代を対象

三膳さんは、引きこもり状態から抜け出すためには「当事者が、安心・安全と思える居場所が必要」と考

えています。サポートネットは「秋桜の会」をはじめ大学や行政機関など14団体で構成。支援者相互の情報交換や学習会を兼ねた全体会を隔月で行っています。

えます。「いろんな人がバネになってくれれば、働けない子、働かない子が社会に出て行ける」と強調します。

現在、新型コロナウイルスの影響で中断していますが、居場所づくりの力を入れています。新発田市社会福祉協議会が行っている「居場所」がモデルになると考えます。新潟市・江南区社会福祉協議会と連携しての試みです。引きこもりの



それぞれの思いを語り合うピアカウンセリング

■新潟県ひきこもり相談ダイヤル

- ・電話 025-284-1001 (相談専用)
- ・受付時間 月曜日から金曜日 8時30分～17時(祝日、年末年始を除く)

■新潟市ひきこもり相談支援センター

- ・電話 025-278-8585
- ・受付時間 火曜日から土曜日 9時～18時

令和2年度

全社協 保育所・認定こども園の損害補償

スケールメリットを活かした有利な補償と割安な保険料です。



◆ 加入対象は社会福祉法人等が運営する認可保育所、認定こども園

セットプラン

● 簡単、便利なインターネットで手続きを

ふくしの保険

検索

<http://www.fukushihoken.co.jp>

保険金額	基本セットプラン	天災セットプラン	
身体賠償（1名・1事故）	1億円・7億円	2億円・10億円	
財物賠償（1事故）	1,000万円	1,000万円	
賠償事故に対応	受託・管理財物賠償（期間中）	200万円	200万円
	うち現金支払限度額（期間中）	20万円	20万円
人格権侵害（期間中）	1,000万円	1,000万円	
事故対応特別費用（期間中）	500万円	500万円	
被害者対応費用	1名につき 5万円限度 1事故 10万円限度		
園児の傷害事故に対応	死亡保険金	121.2万円	108万円
	後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4%～100%	
	入院保険金（1日あたり）	1,700円	1,500円
	手術保険金	入院中の手術：入院保険金日額の10倍 外来の手術：入院保険金日額の5倍	
	通院保険金（1日あたり）	1,100円	1,000円
	天災補償	なし	あり

基本セット補償保険料計算例
100名で加入の場合

賠償	29,300円
傷害	87,000円
870円 ×100名 ×1口	
合計	116,300円

セットプランをおすすめします!!



個別プラン

プラン1
保育所業務の補償

- ① 基本補償
- ② 個人情報漏えい対応補償
- ③ 保育所の什器・備品損害補償

プラン2
保育所利用者の補償

- ① 園児の傷害事故補償
- ② 来園者の傷害事故補償
- ③ 園児送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3
保育所職員・労働トラブルの補償

- ① 保育所職員の労災上乗せ補償
- ② 保育所職員の傷害事故補償
- ③ 保育所職員の感染症罹患事故補償
- ④ 雇用慣行賠償補償 **NEW**

プラン4
社会福祉法人役員の補償

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約（賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、学校契約団体傷害保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険）です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 ▶ **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

(引受幹事) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
保険会社) TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00～17:00(土日・祝日、12/31～1/3を除きます。)

損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 ▶ **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

受付時間: 平日の9:30～17:30(12/29～1/3を除きます。)

福祉職希望のあなた 新たなHPの活用を!!

新潟県福祉人材センターでは、福祉職への就職を希望する方々がより使いやすく、また分かりやすい求人情報などをお届けするために、新しいホームページを開設しました。

求職登録や求人検索はもちろん、福祉の仕事内容、資格取得方法、応募時の注意点、県内福祉系学校の一覧、お得な情報をお届けするLINEのQRコードなど多くのコンテンツを盛り込みました。コンテンツは随時追加する予定です。

公開は6月中を予定しています。

The screenshot shows the homepage of the Niigata Welfare Human Resources Center. At the top, there is a navigation bar with contact information: phone number 025-281-5523, email jinzai@fukushinigiata.or.jp, and a QR code. The main content area features a large heading "新潟県福祉人材センターへ ようこそ!!" (Welcome to Niigata Welfare Human Resources Center!!) accompanied by a cartoon illustration of a man in a suit pointing upwards. Below this, a section titled "福祉人材センターとは" (What is the Welfare Human Resources Center?) is followed by "福祉職専門の無料職業紹介所" (Specialized free job introduction for welfare workers). A text block explains that the center is a free job introduction service for welfare workers, specifically for those with high age, disability, or children. At the bottom of this section, there is a search bar with the text "新潟県福祉人材センター" and a "検索" (Search) button with a magnifying glass icon. To the right, there is a cartoon illustration of two women sitting at a table, one holding a document.

LINE も始めました！新着求人やブログ更新情報等をお知らせします！

ご登録はID (@891nbryz) で検索していただくかQRコードにて行ってください！

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です



自動車共済福祉施設割引

このたび社会福祉施設事業者様に向けて自動車共済に「福祉施設割引」を新設いたしました。充実の補償内容と納得の掛金をご確認いただき、ぜひ自動車共済への加入をご検討ください。

社会福祉事業を運営する事業所様が所有・使用する
自動車の自動車共済掛金に **10%割引**
を適用します。

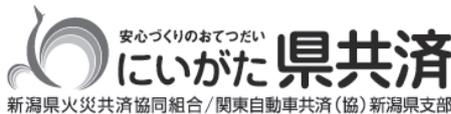
ご加入中の自動車保険の無事故等級も
そのまま継承することができます。



経費削減の第一歩にまずはお見積りから！

☆☆福祉施設割引の適用には一定の条件があります。☆☆

※本広告は福祉施設割引の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては下記にお問い合わせください。



〒951-8133
新潟市中央区川岸町 1-47-1 新潟県中小企業会館内
TEL 025-267-1221 FAX 025-233-7255
URL <http://kenkyosai.jp> にいがた県共済で検索

<引受共済：関東自動車共済協同組合> 平成 30 年 9 月作成 No.1809107

新潟ユニゾンプラザ 情報

◆主な貸室の紹介 【調理実習室・試食コーナー】

【広さ】 66㎡



調理台 4 台と講師用の調理台を 1 台設置しております。その他、調理器具や食器等も用意されております。
料理教室・調理実習などにご利用ください。

また、作った料理を食べられるように、試食スペースが用意されております。



貸ホール・貸会議室は新潟ユニゾンプラザへ

多目的ホール、大会議室、大・中・小研修室など用途や規模にあわせてご利用いただけます。
無料の専用駐車場 (220 台) を完備しております。

◆貸室の利用申込方法

ユニゾンプラザホームページよりお申し込みください。貸室の予約状況も公開しています。

URL : <http://www.unisonplaza.jp/>

【大会議室】

【広さ】 285㎡



200 インチの大型電動スクリーンを設置しております。
研修会や上映会など多岐にわたる大画面ならではの迫力ある映像が映写できます。

なお、プロジェクターが新しくなり、より高画質な映像が投影できるようになりました。

NEW!

～貸しホール・貸し会議室、福祉の店パレット、図書館～
新型コロナウイルス対策を励行しています



赤い羽根情報

「募金百貨店プロジェクト」 第9弾実施中

令和2年5月11日から7月5日までの期間に、株式会社ウオロクホールディングス様とサントリーフーズ株式会社様、サントリー酒類株式会社様とのコラボにより、寄付つき商品をウオロク各店舗で販売し、赤い羽根共同募金に寄付をする「募金百

貨店プロジェクト」第9弾を実施しています。

このプロジェクトは期間中にウオロク各店舗でサントリーの対象商品を購入すると、1本につき1円が共同募金に寄付される仕組みです。寄付金は地域の市町村共同募金委員会を通じて、様々な地域福祉課題に対応する取組みに活用されます。皆様のご協力をお願い致します。

「赤い羽根子どもと家族の緊急支援全国キャンペーン」の実施について

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、地域の子どもたちとその家族をめぐる生活課題が長期化、深刻化していくことが強く憂慮される事態となっています。全国の共同募金会及び中央共同募金会と共に、地域において取り組まれている子どもや家族に対する支援活動を応援するため募金活動と助成を実施することとしました。詳しくは当会ホームページをご覧ください。なお、寄付金の振込先は次の通りです。ご協力をお願いします。

金融機関	口座番号	口座名義
第四銀行 白山支店	(普) 1590791	(福)新潟県 共同募金会
ゆうちょ銀行	00630-5- 14477	

※同一銀行間での窓口での振込手数料は無料です。
※ゆうちょ銀行から振込む際は通信欄に「子どもと家族の緊急支援」と記入してください。

配分公告の訂正

福祉にいがた5月号に掲載した令和元年度共同募金配分公告に一部誤りがありましたので訂正します。

区分		正 (訂正後)	誤 (訂正前)
募金の部	あったか雪募金	1,153,510	1,121,741
	合計	455,275,174	455,243,405
配分の部	あったか雪募金	1,153,510	1,121,741
	合計	468,088,170	468,056,401

※返還金等を含むため募金と配分は一致しません。

地域紡ぐ

フードバンクしばた (佐藤哲也・代表 新発田市)

2016年に設立されたフードバンクしばた。「主に子どものいる生活困窮世帯を包括的に支援したい」との一念で、食料品の提供をはじめとする事業に力を入れてきました。今年度からは、小中学校学用品リサイクル事業とママの休憩室(虹)を始めるほか、こども支援プロジェクトの対象を保育園児にまで広げるなど、生活が苦しい世帯への



事務所に開設された「ママの休憩室」

支援をさらに拡充していくことにしています。

フードバンクしばたは、
①フードバンク事業②こども食堂③就学支援・制服のリサイクル④こども支援プロジェクトの4つの事業に柱を展開。これを約100人の会員や食料品や資金を提供する個人、団体、企業、

生活困窮世帯を包括的支援

そしてボランティアらが支えています。

中でも、市教育委員会とタイアップした「こども支援プロジェクト」は全国的にも例を見ない試みだと言いうことです。希望の世帯に毎月10⁺のコメを届けるというもので、就学援助を受けている小中学生のいる世帯に、市教委が届けている文書にプロジェクトの案内を同封し募集しました。そ



新型コロナウイルスの影響でコメが不足、早速市内の経済団体から支援が寄せられた

うですが、その一方で、「子どもに思い切り食べさせたいから」と申し込んだ世帯もありました。

「利用してもらえればうれしい。この事業をやった良かったと思う。ぜひ全国にも広めたい」と直接各家庭にコメや食料品を届けている事務局の土田雅穂さん

は手応えを感じています。

今年度からは、市と保育園の協力を得て、保育園児も対象とします。「離婚時は子どもが小さいことが多く。生活が落ち着くまで、精神的、物質的に最も厳しい」というシングルマザーの声を放置できないとの思いからでした。

就学支援も一層充実させ、「小中学校学用品リサイクルバンク」を新たに立

◆メモ◆

フードバンクしばたの拠点となる事務所を4月10日に開設した。管理人が常駐、パート職員もおり、事務所機能が充実する。ママの休憩室と個別対応のこども食堂も、ここを拠点として行う。開設時間は、9時から18時まで。

【住所】

新発田市本町3-3-3

【電話】0254-20-8666

【アクセス】0254-28-7666

【ホームページ】<https://foodbank-shibatata.org/>

ち上げました。学用品の購入は家計に大きな負担です。「運動着など、学校から購入してほしいとの文書が来ると、どれだけ切ないか」と土田さん。これも市教委と校長会の賛同を得て、市内全小中学校で進めています。

各学校にリサイクルボックスを設け、全ての保護者に協力依頼のチラシを配り

ます。鍵盤ハーモニカから分度器、コンパス、物差しなど、学用品の寄付を募っています。市内の中学校、高等学校の制服やブラウスなどの寄付を募ってきた「制服リサイクルバンク」と合わせて、さらにきめ細かい支援となります。

また、産前産後のお母さんの悩みごとの相談に当たる「ママの休憩室（虹）」も新設されました。保育士や子育て経験のあるボラン

ティアが待っています。

フードバンク事務所内



で、金曜日と日曜日を除く午前9時から午後2時まで行います。休憩室の責任者で事務所の管理人の坂本文江さんは「実家に帰ってきた雰囲気です。一人で来ても来るとを願っています。子ども食堂も真に困っている子どもへの個別支援にかじを切ります。

夫のDVなどで着の身着のまま逃げた人が生活するために必要な布団や電化製品などをストックする部屋

毎週土曜日と日曜の昼に行ってきたが、土曜日の昼だけとします。精神的余裕がなく、子ども食堂に来ることができない家庭や生活が苦しく食事にも事欠く家庭の子どもに、朝、昼、夜を問わず食事を出す計画です。具体的支援は、学校や家庭児童相談員などと相談しながら進めて行くことにしています。

新型コロナウイルスの影響で今後失業者の増加が見

込まれます。土田さんは「なんとか助け合っていきたい。これからの『正念場』とセーフティーネットとしての役割を強調しています。

地域の社会資源を耕し、共生社会に向かって、地域を支えるNPO法人や福祉関連団体などの活動をご紹介します。

◆ ◆
＝ 随時掲載 ＝

ず～む 2020 Vol.43

変容する働き方

猛威を振るう新型コロナウイルスの感染予防として3密（密閉・密集・密接）を避けることが求められる中、仕事の取り組み方にも

変化が生じている。

感染者との接触機会を極力減らす観点から、これまでは集合して対面で行っていた会議やミーティングもオンライン会議という対面によらない方法がとられるようになってきている。また、クラウドやチャットなどを活用することによって、複数の人々やチームが、時間を調整して一カ所に集まることなく、自分のデスクにいながらにして協働することもできる。さらには、在宅勤務や時差通勤の活用が推進されたり、事務的な手続き（これまでの「対面」で

「書面」に「押印」が必要になるようなもの）についても簡素化について議論が始められるなど、私たちの働き方にも何らかの影響を及ぼしている。

これまで、オンライン会議やクラウドの存在は知っていても、実際に経験したことがなかったが、今回を機に重い腰を上げて試しにやってみると、会議のための移動時間や書類準備の時間が短縮できたり、場所や時間にとらわれない仕事のあり方について新たに気づくことも多くあった。

今回のような緊急時だけでなく、平常時からオンライン会議や在宅勤務などを適宜取り入れた働き方が浸透すれば、時間や空間の制約にとらわれない働き方ができるため、子育てや介護と仕事の両立の手段となり、多様な人材の能力発揮にもつながる。なかなかいつも通りに行かない現状だからこそ、仕事の簡素化や効率化といった視点で新たにできることを模索し、これまでの働き方を見直すきっかけにしてみたい。

（貴浩）

福祉の現場

—福祉の現場で働く人たちに、
仕事の魅力と懸ける思いを聞きました—



身寄りなし問題研究会 代表

す が い ひ で あ き
須 貝 秀 昭 さん

◆資格

看護師、救命救急士、主任介護
支援専門員、社会福祉士

◆モットー

人生は死ぬまでの暇つぶし

◆所属団体情報

身寄りなし問題研究会

☎ 080-3195-5590

ホームページ／

<https://58vmu.crayonsite.net/>

家族・親族がいない、いても疎遠あるいは遠方にいる、関係性の問題などで支援を受けられない「身寄りなしの『おひとりさま』」が、不利益を被る現状を打破したいという思いから、2017年6月、「身寄りなし問題研究会」を立ち上げました。特に病院への入院や施設への入所の際に、身寄りがなく、身元保証人などがいないことが問題となります。研究会が協力し、新潟県立大学小澤研究室が行った「新潟県における身元保証人等に関する実態調査」（2018年・県内の病院や特別養護老人ホーム、老健施設など対象）でも、身元保証人がいないことを理由に入院、入所を断った例が17.4%あり、27.8%がこうしたことが法律や厚労省令等で禁止されているこ

全力で「おひとりさま」が許せる社会実現

とを知らなかったという結果が出ています。そこにある課題は、金銭管理、死後対応、医療同意の3つです。これらを分析し、代替する制度や解決する仕組みなどを、勉強会を重ねるだけに終わらせず、参加者で考え発信することを目標としています。掲げる理念は「おひとりさまを許せる社会に」です。研究会がアドバイザー協力している魚沼市では5回連続の勉強会を契機に「身寄りなし支援ガイドライン策定委員会」が設けられました。「県内初ではないか。波及してほしい。一つでも解決すれば、ハードルが下がる。来年は、NPO法人化し、法人後見や終活支援に力を入れたい」と熱く語ります。

母の影響で看護師になった後、元の老健施設に勤めたことが福祉の道突き進むきっかけに。「困難なケースほど、やりがいがあり、どんなのめり込んだ。大変なところに飛び込むほど、持てる力を発揮できるのではないかと。介護・福祉に関する引き出しも増える」。現在、新潟市中央区の地域包括支援センターで、さまざまな相談に当たっています。



定期的勉強会

全力投球が身上。看護師ボランティア組織「キャンパス新潟」を立ち上げたり、新潟日報の「窓欄」にせつせと投稿、情報発信にも励んでいます。

福祉の店パレット

☆マスクいろいろ☆

新型コロナウイルス感染対策にマスクが必需品となりました。福祉の店パレットには手作りのマスクがたくさん入荷しています。ガーゼ素材や綿素材の優しいマスクです。

プリーツタイプや立体タイプなどいろいろな形や、サイズもそろっていますので、マスクをつけることの楽しみが増えそうです。

【製作施設紹介】

「サポートセンター青りんご」「ワークセンター日和山」「すずらんクラブ」「豆の木」「きまま舎」

問い合わせ

福祉の店パレット新潟店 ☎025-281-5513

県社協 地域福祉課 ☎025-281-5521



◆ご意見・感想お寄せください
◆TEL 0950-85575 新潟市中央区上所2-2-2
◆新潟ユニゾンプラザ3階 新潟県社会福祉協議会企画広報課
◆ファクス 025-281-5528
◆Eメール oasisu@fukushishinigaata.or.jp

この機関誌は、
赤い羽根共同募金の
助成を受け発行しています。



発行所／社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ
☎ 025-281-5584
発行人／関原 貢
定 価／5円（会員の購読料は会費に含む）

福祉にいがた
令和2年6月1日発行（毎月1日発行）
昭和27年9月16日 第三種郵便物認可
印刷／島津印刷㈱